

ミニインタビュー連載

—星野さんの素顔—



©RACING NEWS formula

はじめに。

---

星野一義・・・TEAM IMPALを率いる熱き闘将であり、現役時代は「日本一速い男」と呼ばれた人物です。

時々、現役時代の映像を見かけるときがありますが、そこに映る星野さんの表情はいつも厳しく険しい表情ばかり。それは、監督として画面に映る現在でもあまり変わりません。けれども、勝利を手にしたドライバーたちを迎える時や、パドックでファンのサインに応じる時の姿からは、それとはまったく違うあたたかみが溢れています。

実際に、時々会話をさせていただくときの星野さんは物腰柔らかく、時折、ジョークを交えながらもいつも優しく対応してくださいます。しかし、レースセッションが始まると、闘将モードにスイッチが入りオ近寄りがたい雰囲気が漂います。

現役を引いてもなお、誰よりも勝負に厳しい姿を見せる闘将モードオンの星野一義は誰もが知る姿。では、オフの星野さんはどんな人物なのだろう？ いくつかのエピソードはありながらもなかなか知る機会はありません。

今シーズンはじめ、サーキットにいなながらも勝負スイッチがオンになる直前の、レースウィークの金曜日に、星野監督に日常的ワードを投げかけながら星野一義の素顔を探るというインタビュー企画をお願いし、快諾を頂きました。だが、開幕戦のふたを開けてみると、2月のシェイクダウンが大雪によって中止になってしまったため、その振替としてレースウィークの金曜日にフリー走行枠が設けられることに……。今シーズンは9月のオートポリス大会以外、金曜日のフリー走行が実施されることになりました。

走行があるというのに、お忙しい中、時間を作ってもらい、レースと関係のない会話をさせていただくのはご迷惑ではないだろうか？と、正直気が引けながらも尋ねたところ、星野さんは取材を引き受けてくださいました。

ここではそんな他愛もない会話の中から拾った、肩書のない普段の「星野一義」の姿をちょっとずつお届けしていきます。



◆オフの星野一義◆

レースの時はみんなにすごく怖いイメージだと思われている。ところが、プライベートの時に会うと全くレースの話はしない、自宅にトロフィーのひとつも置いていない、クルマの写真もない。部屋にあるのはゴルフの雑誌だけ。とにかく、オイルの匂いとクルマのニオイは一切マイホームにない。それくらいオンとオフ分けている。365日クルマのニオイを嗅いでいたくないわけよ。オフの時には監督業以外のビジネスもあるんだけど、レースの後は自分の時間を作ったら2日間ぐらいは何もしない、髭も剃らない“腑抜けじじい”をやるわけ。とにかくぐうたらする。電話も出ない、会社から俺には一切、連絡はつかない。山中湖に別荘があるんだけど、庭に出てビニールのグローブをして、長靴を履いて草むしりとかして。女房にも何か食べ物用意しておけとか言わないから、外に出たのんびり食事をしたり、そういう状態でいられる空白の時間が最高だね。でないと、この神経がピリピリピリピリしているなかでやってたんじゃ、持たない。だからそういう別の星野と、ガンガンにチャレンジして戦う星、ふたりの星野がいるんだよね。趣味でゴルフをして楽しむようなときもあるけれど。でも、中途半端な、“なあなあ”な星野はいないね。

---